

紙面で防災訓練 「災害紙上訓練・DPG」開催中 「グリーンシティを守る584の法則」

いつ起きるかわからない大地震！その大地震をグリーンだより紙上で体験し「いかにして自分の命を守るか」を考えるゲームです。地震想定日は、4月中旬の日曜日、マンションの8階に住む主人公の大石さん家族がゆったりとラジオで音楽を聞きながら朝食を食べているその瞬間に発生した。目の前に広がる風景、あなたの生活、何もかもが一変した。「大地震発生」「停電！静寂！余震への前触れ」「助け合い」「広がる人の輪」「救え！尊い命！」「救出！」「協力！」第8回「避難！」に引き続き、さて、あなたならこの体験を通して何を感じるのでしょうか？

第9回「ぬくもり！」

その時、金田さんがやって来た。金田：「食べるものがないかと多くの方がやって来ていますがどうしましょう？」平山：「そうですね。地震発生から8時間たちましたからね。当然、今日は昼食をとっていない人が多いんじゃないでしょうか？私たちも全く食事はしていないのですからね」志村理事長：「そうだ！夏祭りや餅つき大会で使っているガスコンロや鍋を出してきましょう」山田自治会長：「それじゃ、自治会倉庫から出してきますのでお手伝いできる人お願いします」平山：「その間にみんなに呼びかけて、食材を提供していただける人を呼びかけましょうよ」津田：「でも、みんな自分の家になから食べ物を探しに来ているのではないのでしょうか？」大石：「考えていてもしかたがありません！とりあえず呼びかけましょう！そして、その間に金田さん集まってきた人たちで知恵を出し合って、どのようなものができるのかレシピを出しあってみてください。これだけ居るんだから良い知恵が浮かぶはずですよ。お願いします」金田：「了解！なんでも良いですよ！ある食材でできる限り多くの人に分けることができ、早く作れるものを考えます」平山：「ガスの備蓄はありましたか？」山川管理員：「備蓄と言う程はありませんが、小さなボンベが3本ありますよ」そこに小橋さんと星崎さんが戻ってきた。星崎：「えっ！食べ物なんかできるのかな？」小橋：「それならちょうど、今度の地域清掃活動

クリーン作戦の時に使おうと良いものをレンタルしていたところですよ」大石：「えっ、どんなものをレンタルしていたんですか？」

小橋：「イカ焼き機ですよ。」

大阪出身の平山さんがこの前にイカ焼き食べたい！食べたいって言ってたでしょう。だから、来週のクリーン作戦の後、イカ焼きをしてお手伝いしていただいた方々に焼いて配ろうと思っていました。その為に『焼き方や味の研究』にと、早めにレンタルしてました。ちゃんと理事長とも相談していますよ。費用のこともあるのですね」平山：「いや、実は私たちもみんなを驚かしてやろうと、イカ焼きの研究をしていたんですよ。焼き方や粉の配合も完璧なんですよ。でもねえ」大石：「私たち？」平山：「津田さんとね。こっそり。ところが家で練習できるのは簡単なイカ焼き機で家のガスコンロの上でやるものでして、どうもうまいいかなかったんで半ば諦めていたんですよ」大石：「何台レンタルしてましたか？」小橋：「1台だけなんですけどね。すぐに倉庫から出しますよ」大石：「不謹慎かもしれないけれど、なにかワクワクしてきましたね」小橋：「出してきましたよ」平山：「おおー！これや、本物のイカ焼き機や！」大石：「ところで材料は何なのですか？」平山：「小麦粉とだしの素と水。小麦粉はどの家にもあるでしょう」

大石：「イカは？」平山：「大石さん！こんなときはイカなんかいらない！味付け用のソースやマヨネーズ、ポン酢にしょう油でもなんでもOKや」大石：「平山さん！肝心の水は？」小橋：「それがちょうど、

クリーン作戦用の飲み物に水をペットボトルで240本用意していたんですよ。毎年、お手伝いしてくれる人の数だけね」そこに津田さんが戻ってきた。津田：「結構、小麦粉は各家庭においておられるようですね。沢山集まっていますよ」大石：「小麦粉一袋で500g程度ですよ。じゃ500gで何人前できるんですか。それと焼ける時間は？」津田：「この大きさなら、半分に切れば約40人前は焼けますよ。焼き時間は1回焼くのに約30秒程度ですよ」大石：「じゃあ、500人分焼くのに、ざっと4時間か？それとガスがもつのかな？」そこに木畑さんがやってきた。

木畑：「何か手伝うことはないですか？」平山：「あっ、木畑さんガスの専門家でしたよね。実はプロパンガスを調達したいのですがなんとかありませんか？」

木畑：「そんなことおあいご用や！すぐに取りに行ってくる！」大石：「木畑さん、会社は近いの？」木畑：「近いも何も、国道わたって直ぐだから大丈夫！まかせとき！」そこに金田さんたちがやってきた。金田：「手に入る材料で考えると、ありきたりだが、汁物が温まって体にもやさしいからね。もう、はじめてますよ！」志村理事長：「たくさんの方がお手伝いに出てきてくれてますよ。みんなで頑張っって乗り切ろう！」

そこに民生委員の山下さんがやって来た「高齢者や障害者の方々の安否確認に回っているんですが情報の集約などお手伝いできる人はいませんか？」

第9回の学習ポイント

災害直後は慌てて食糧を手に入れることより、まずは危険から自分の身を守ることを考えましょう。

大量の保存食を用意するより普段使うようなもので保存のきくものを少しだけ余分にストックしておきましょう。

食べては買い足すように心がけてください。地域では、普段からコミュニケーションをとり、みんなで助け合いましょう！

防災会からのお知らせ

<粉ものの備蓄を推奨します>

グリーンシティでは、各家庭において小麦粉など粉ものの備蓄を呼びかけています。グリーンシティにはご存知の通り「イカ焼き機」があります。防災井戸には水があるので、「粉」さえあれば、災害時も炊き出しで乗り切ることが可能です。

<安否確認登録・掲示板のお知らせ>

グリーンシティ防災会では、携帯電話用のホームページに安否確認登録と掲示板を設営しています。書き込み時には、共通のユーザ名： パスワード： を入れてからサイト内に入ってくださいね。



AEDを増設しました



近畿コカ・コーラボトリング株式会社とのコラボレーションにより、AED（自動体外式除細動器）を3台増設しました。設置場所は以下のとおりです。

管理事務所（既設）

B棟1Fエントランスホール

D棟1Fエントランスホール

E棟1Fエントランスホール

AEDの取り出し方や注意事項は収納箱に記載しておりますので、普段から目を通しておい
てください。また、取り扱い方法はAED内に収納されています。

AEDは、使ったことのない方でも音声メッセージに従えば比較的簡単に使用できますが、
緊急の場合に備えて事前に学習しておくことが望まれます。防災会ではAEDの使用方も含
めた応急手当普及員による「普通救命講習会」を2月16日（土）に開催しますので、でき
るだけ多くの方に参加していただきたいと思ひます。

もし、ご家族の誰かが心肺停止状態に陥った場合、命が助かる可能性は10分の間に急激に少なくなっていま
す。このような時に、まず必要なことは「119番通報する」ことです。しかし、救急車が到着するまでには全国
平均で約6分かかるといわれています。この間、手をこまねいては助かる命も助けられないことになりま
す。そこであなたの救命措置が必要になるのです。あなたの大切な人を助けられるよう、ぜひ救命講習会を受講される
ことをお勧めします。なお、このAEDは自動販売機の売上で維持・管理しています。

